

JILA

ランドスケープ作品選集

JILA selected works of landscape architecture

ランドスケープ研究 Vol.85 増刊 作品選集

2022

NO. 16

公益社団法人
日本造園学会

ISSN 1882-4463

ランドスケープ作品選集

2022 No.16

北海道・東北地方

福島ロボットテストフィールド研究棟ランドスケープ
高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設
釜石祈りのパーク

関東地方

高円宮記念 JFA 夢フィールド
グリーンズプリングス
msb Tamachi のランドスケープデザイン
朝霞市シンボルロード・緑の都市軸創生
WATERS takeshiba
The Okura Tokyo ランドスケープ
大手町プレイス
CO・MO・RE YOTSUYA (コモレ四谷) ランドスケープ計画
リソルの森 グランヴォー スパ ヴィレッジ
新港ふ頭客船ターミナル (横浜ハンマーヘッド)
QUWON 新浦安
豊洲ベイサイドクロス
つくば市竹園1丁目「都市再生ランドスケープ」
横浜市役所のランドスケープデザイン
東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー
早稲田大学 37 号館 早稲田アリーナ
神田スクエア
群馬県コンベンション施設周辺道路整備事業
東京経済大学 新次郎池周辺整備
東京リハビリテーションセンター世田谷
上野動物園パンダのもり
練馬区立上石神井こもれび公園
杉並区立中央図書館 本の広場
WITH HARAJUKU
Hareza 池袋
シチズン時計株式会社 東京事業所
アーバンネット内幸町ビル
THE BLOSSOM HIBIYA
プリリアタワー上野池之端
パークコート一番町
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
大森駅東口駅前広場
The Okura Tokyo 山里の庭
ミドリノオカテラス
川越市市内循環線ポケットパーク再整備

中部地方

ラグーナベイコート倶楽部 ホテル & スパリゾート
Hisaya-odori Park
中部大学 3つの庭
洞岩寺樹木墓苑「山岳風景葬」

近畿地方

星のや 京都 / おもてなし空間の育成管理
新風館 ランドスケープデザイン
ホテル エミオン京都
MUNI KYOTO
嵯峨野山墅十五景 ～名所 (などころ) をつくる～
福田美術館庭園
野洲市さくら墓園合葬墓
OS ビル前遊歩道リニューアル “OS 広場”
神出山田自転車道 BE KOBE モニュメント及び衝原大橋休憩所
伊弉諾神宮の茶庭づくり
「向学庭」～兵庫県政 150 周年記念の庭～

中国・四国地方

第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア メイン会場
岡山理科大学 今治キャンパス

九州・沖縄地方

沖縄科学技術大学大学院のランドプランニング
星のや沖縄およびバンタカフェ
ハレクラニ沖縄
さいき城山桜ホール周辺地区
柳川市民文化会館 水都やながわ
SAKURA MACHI Kumamoto
江北町みんなの公園
クアパーク長湯
九電工 別府保養所 久香園
霊鷲寺方丈庭園「座禅石の庭」

海外

ハナ・グローバルキャンパス
“力信擎天” ランドスケープ
“森・風・景” ランドスケープデザイン
上海崇明海和院
福安社区公園
PAUD Central Bali 保育園

日本造園学会賞設計作品部門受賞作品

柏の葉アクアテラス
町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲート

星のや 京都 / おもてなし空間の育成管理

HOSHINOYA Kyoto: Fostering a space of hospitality

京都市右京区
Ukyo-ku, Kyoto City



年数を経てはぐくまれた客室前の小路空間 A guestroom path nurtured over time(' 21.06)



星のや京都工事前の状態 Before construction (' 08.07)



竣工当初の状態 After construction (' 09.11)



職人の姿も景色の一部 The gardener as scenery (' 11.11)

京都・嵐山にたたずむ水辺の私邸として運営されている和のリゾート「星のや 京都」(2009年12月開業)に、施工時から現在の育成管理に至るまで携わらせていただいている。

前旅館の閉鎖後数年を経て、新たに「星のや 京都」として再生された。内部の庭と外側の眺望により異なる二つの魅力で挟み込む構成となっており、庭園の滝組など、もともとこの地にあったものを活かしつつモダンな要素を取り入れてリノベーションが行われた。

日本庭園の管理は現状維持だけでなく、あるべき姿に育成するものである。数年後、数十年後も更に美しい景色を楽しんでいただけるよう、育成管理に注力すると共に、施設の

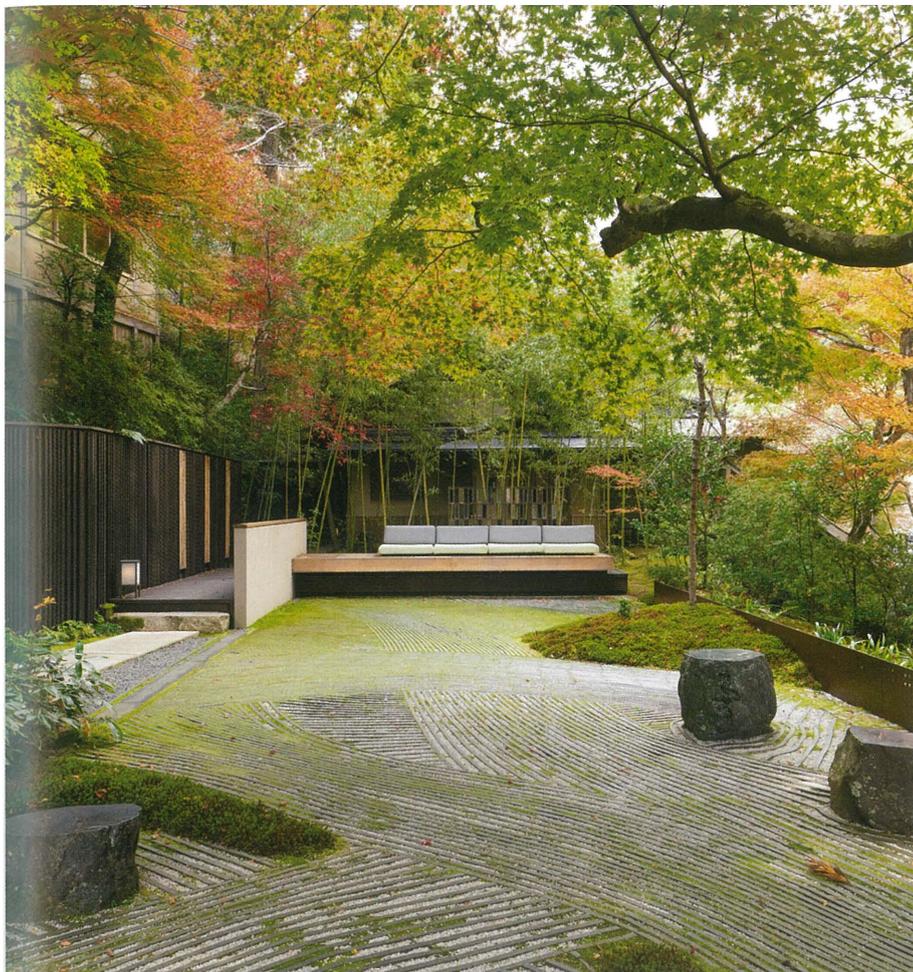
魅力づくりや運営に応じた改修が行われている。

「星のや 京都」の庭園は峡谷の美しさ、和のリゾートとしての庭園の美しさが両立するよう、もともとあった樹木を整理しながら活かすために、着工前の段階で「整備・管理計画」を検討し、工事およびその後の育成管理へとつなげている。例えば植栽管理について、工事前には、園路沿いのモミジは枝を大きく切りつめられ、嵐山の自然と調和せず違和感がある眺めであった。そこで現在は枝を自然に伸ばしながら、透かし剪定の技術を用いて、山中にあるようなモミジの風情を楽しんでもらえるよう育成している。現在は嵐山

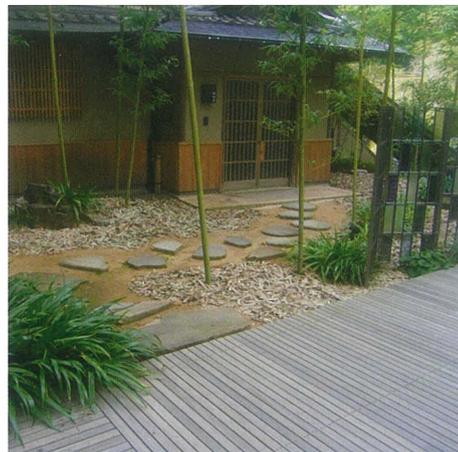
の自然と溶け込んだ景色となり、嵐山という素晴らしい環境を「星のや 京都」の中に居ながら味わっていただくことができる。また、施工時は竹が活着しやすいよう竹の芯を止めた状態で植栽しており、新たに出てくるタゲノコが野生の猿に食害されるというハプニングが生じながらも、10年かけて、足元も苔となり風情のある竹林へと移行している。

お手入れをする職人の姿は景色の一部となり、季節の特別企画である庭園案内や、職人の手仕事によるお正月飾りの十二支のディスプレイなど、職人のおもてなしが庭園空間の魅力を上向する要素となって、ゲストに楽しんでいただいている。

加藤 友規 Tomoki Kato 長谷川 浩己 Hiroki Hasegawa
 井上 靖智 Yasutomo Inoue 鈴木 裕治 Yuuji Suzuki
 渡辺 伸也 Shinya Watanabe 丹野 麗子 Reiko Tanno
 植彌加藤造園株式会社 オンサイト計画設計事務所
 UEYAKATO LANDSCAPE studio on site



時間を経て、味わいが出てきた奥の庭 Inner garden's flavor evolves over time (' 18.11)



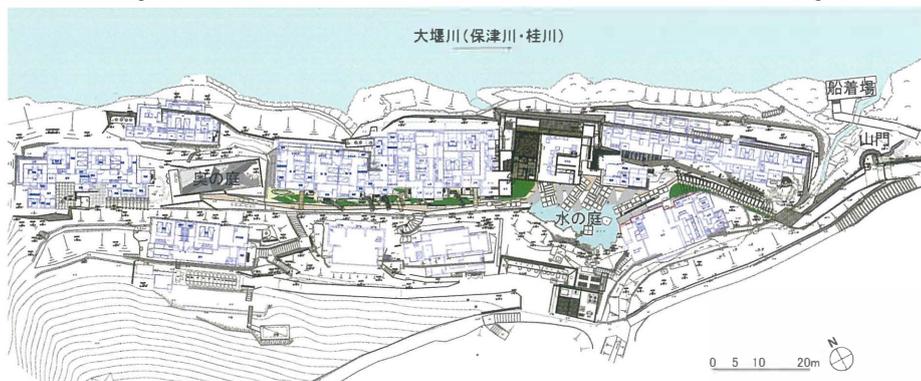
竣工後まもなくの竹林 Upon construction (' 10.10)



育成された竹林 With bamboo grove (' 18.05)



職人による庭園案内 Gardener guided tours (' 13.04)



平面図 Plan

HOSHINOYA Kyoto is a Japanese-style waterside resort in Kyoto's Arashiyama area. It was born in December 2009, a few years after the closing of a ryokan overlooking the Arashiyama valley that previously existed in this area. The garden's composition blends the resort's garden with its external landscape and is renovated with modern elements that amplify upon the site's original features, such as the ryokan garden's waterfall. Managing a Japanese garden means not just maintaining its current state, but fostering it into its proper form. HOSHINOYA Kyoto's garden has been carefully nurtured so that increasingly beautiful scenery may be enjoyed here for decades

For example, before construction, maple branches were sharply cut back. These branches were grown out and pruned to convey the feeling of maples in the mountains. Today, the garden's scenery blends with the Arashiyama area so that its wonderful environment can be enjoyed from inside HOSHINOYA Kyoto. At the time of construction, the tops of bamboo trees were cut to allow them to take root more easily. Today, however, there is an abundant bamboo grove with a moss floor. The garden's gardeners are also a part of its scenery. They provide reception services, such as seasonal garden tours, which guests enjoy as elements enhancing the appeal of their stay.

作品評 (武田 重昭)

時間の経過を価値化させるために、人が手を加え続けるというのは、造園の持つ本質的な態度である。しかし、この庭が持つ時間の価値は、そこに人の手が加わっていないように見える技術に支えられている。嵐山の恵まれた環境に呼応する庭の質を維持・向上させるためには、人の手が目立たないように自然を育てる営為が求められる。一方、日常的に行われる庭師による洗練された手入れそのものが、移り行く風景の一部に昇華され、魅力となっている。この庭では、目には見えない手と目に見える手の両手によって風景の価値が育てられている。

星のや 京都 / おもてなし空間の育成管理

所在地：京都府京都市西京区嵐山元禄山町11-2

事業主：星野リゾート

計画・設計・監理

基本構想：長谷川浩己・鈴木裕治・丹野麗子
(オンサイト計画設計事務所)

基本計画：同上

基本設計：同上

実施設計：同上

計画及び設計協力：

建築／東環境・建築研究所、造園／植彌加藤造園

施工者：加藤友規・橋本久範・加藤末男・山口満・新里栄太(植彌加藤造園)

維持管理：加藤友規・井上靖智・渡辺伸也(植彌加藤造園)

併設作品：建築／東環境・建築研究所

計画・設計期間：

2007年12月～2008年8月

施工期間：2009年2月～11月

規模：敷地面積9,681.98㎡(うちランドスケープ面積7,740.88㎡)

キーワード：育成管理、庭園、リゾート、ホテル、和

立地条件：地域地区、市街化調整区域

新風館 ランドスケープデザイン

所在地：京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町586-2

事業主：NTT都市開発

計画・設計・監理

基本設計：吉澤真太郎・宮城俊作・吉田新(設計組織プレイスメディア)

実施設計：同上

施工監理：同上

計画及び設計協力：

企画・総合プロデュース／NTT都市開発、建築設計／隈研吾建築都市設計事務所、NTTファシリティアーズ、照明：ModuleX、文化財移設監修／仲隆裕(京都芸術大学)、徳村盛市(植清)

施工者：大林組、西武造園

併設作品：名和晃平・Ether (Octagon)

計画・設計期間：

平成28年4月～平成29年9月

施工期間：平成29年10月～令和2年3月

規模：6,384㎡

キーワード：再開発、保存建物、建替、屋上緑化

立地条件：商業地域、特別用途地区(職住共存地区)、沿道型美観地区(幹線地区)、既成都市区域・旧市街地型美観地区、遠景デザイン保全区域

ホテル エミオン 京都

所在地：京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4

事業主：スターツコーポレーション

計画・設計・監理

基本構想：スターツ総合研究所

基本計画：スターツCAM

基本設計：日建ハウジングシステム大阪オフィス

実施設計：スターツCAM

施工監理：スターツCAM・日建ハウジングシステム大阪オフィス

計画及び設計協力：

施工者：スターツCAM

計画・設計期間：

2018年2月～2018年11月

施工期間：2018年12月～2020年5月

規模：4,000㎡

キーワード：地域活性化、商業施設、ホテル、屋上緑化、緑のネットワーク、歴史の継承

立地条件：商業地域、高度利用地区(七条新千本地区)、31m高度地区、遠景デザイン保全区域、景観保全区域(沿道型美観形成地区、市街地型美観形成地区)

MUNI KYOTO

所在地：京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3番

事業主：AYG

運営者：クオリタス・ホスピタリティー・アドバイザーズ

計画・設計・監理

基本設計：平賀達也・村瀬淳(ランドスケープ・プラス)

実施設計：平賀達也・村瀬淳・坂本幹生(ランドスケープ・プラス)

施工監理：同上

計画及び設計協力：

建築計画／安田アトリエ

施工者：熊谷組、西武造園

計画・設計期間：

2017年1月～2018年2月

施工期間：2018年10月～2020年5月

規模：敷地面積：3,205.39㎡

建築面積：1,110.74㎡

キーワード：ホテル、日本庭園

立地条件：第一種住居地域、歴史的風土保存地域、特別修景地域、風致地区(2種)、史跡・名勝「嵐山」

嵯峨野山墅十五景～名所(などころ)をつくる～

所在地：京都府京都市右京区

事業主：個人

計画・設計・監理

基本構想：加藤友規(植彌加藤造園)

基本計画：加藤友規・橋本久範・深川毅一・齋藤絢子(植彌加藤造園)

基本設計：同上

実施設計：加藤友規・加藤末男・橋本久範・深川毅一・齋藤絢子・中谷聡一(植彌加藤造園)

施工監理：加藤末男・橋本久範・中谷聡一(植彌加藤造園)

計画及び設計協力：

南田康孝(CUH-KAN)

施工者：加藤末男・橋本久範・中谷聡一(植彌加藤造園)

併設作品：建築設計／LAYAN ARCHITECTS

+ DESIGNERS, 設計組織アモルフ、建築施工／要建設

計画・設計期間：

2018年5月～2019年11月

施工期間：2019年12月～2020年12月

規模：2,960㎡(敷地面積：4,069.09㎡)

キーワード：名所(などころ)、個人邸、借景、池泉回遊式日本庭園、滝

立地条件：市街化区域、10m高度地区、第一種低層住居専用地域、特別修景地域、歴史的風土保存区域、風致地区第1種地域

福田美術館庭園

所在地：京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16

事業主：合同会社AYG

計画・設計・監理

基本構想：三谷康彦(MLS)

基本計画：同上

基本設計：同上

実施設計：加藤友規・田中誠(植彌加藤造園)

施工監理：同上

施工者：植彌加藤造園、建築／戸田建設

併設作品：建築設計／安田アトリエ

計画・設計期間：

2014年9月～2017年2月

施工期間：2017年3月～2019年2月

規模：敷地面積1,986.71㎡(うちランドスケープ面積1,294.03㎡)

キーワード：美術館、借景、水盤、松

立地条件：第一種住居地域、風致地区第2種地域、史跡・名勝嵐山、特別修景地域、歴史的風土保存区域

野洲市さくら墓園合葬墓

所在地：〒520-2322 滋賀県野洲市南桜2116番地1

事業主：野洲市

計画・設計・監理

基本構想：野洲市役所環境経済部環境課

基本計画：白井宏昌

基本設計：白井宏昌・村上修一

実施設計：村上興業、監修／白井宏昌・村上修一

施工監理：監修：白井宏昌・村上修一

計画及び設計協力：

施工者：三光建設工業

計画・設計期間：

2019年1月～10月

施工期間：2019年11月～2020年3月

規模：計画敷地面積685.5㎡、施工範囲177.6㎡

キーワード：地域環境、合葬式墓地、大地の彫刻

立地条件：公共霊園内

OSビル前遊歩道リニューアル"OS広場"

所在地：大阪市北区小松原町3-3 OSビル1階北側

事業主：オーエス

計画・設計・監理

基本構想：オーエス